

3・11祈りの汽笛

届 け 被 災 地 へ

「東日本大震災犠牲者の追悼」

「悲惨な出来事を人々の心から風化させない」

「災害への備えの気持ちを新たに」

一緒に「祈り」を届けてください

2021年3月11日（金）

14時46分

氷川丸、帆船日本丸、マリンシャトルなど港内の汽笛が鳴ります。この時間に黙祷をお願いします

*場所はどこでも結構です。

主催 3・11祈りの汽笛実行委員会

- ・横浜災害ボランティアネットワーク会議 ・座間災害ボランティアネットワーク
- ・神奈川県災害救援ボランティア推進委員会
- ・公益社団法人SL災害ボランティアネットワークかながわ
- ・ソクラテスプロジェクト ・被災地の子どもを支援する神奈川県民の会・一財)防災教育推進協会・かながわ発ボラバス応援隊
- ・港北区災害ボランティア連絡会・他

協力 氷川丸、日本丸、マリンシャトル、ガンダム

事務局：国際救急法研究所 宇田川規夫 (090-9102-3914)

神奈川県民の皆様へ

～3月11日を忘れまい～ 県内防災ボランティアからの訴え

2021年3月11日で、神奈川県でも死者を出した東日本大震災から満10年となります。私たちはこの10年間、多くの県民の方々のご協力を得て東北への支援を続けてきました。

そこで見えてきたことは、10年を経てもいまだ復興への道半ばだと言う厳しい現実です。福島の方々はまだ28,000人以上が県外避難を余儀なくされており、うち6割の方は帰る予定はないと言っています。原発事故のもたらした重さを考えずにはられません。

そのような東北と連携して活動をさせていただいてきた私たちはたくさんの災害からの学びを得ることができました。私たちはその学びを、私たちの地域に還元させなければ神奈川県の災害からの安全は確保できないと考え、今なお活動を続けています。今3月11日を「防災教育と災害伝承の日」が提唱されており、今後も防災を考える日としたいとの思いです。

そこで次の3点を皆様をお願いしたいと思っています。

- 1 2021年3月11日14時46分横浜港で氷川丸、帆船日本丸、マリンシャトルが鳴らす汽笛に合わせて黙祷し、東北へ思いを馳せてください。
- 2 愛する大事な人を死なせない、傷つけない備えを
何よりも「生き残らなければ何も始まらない」ということを念頭に置いて、家屋の耐震強化、屋内の安全確保（家具の固定・ガラスの飛散防止など）、そして、緊急地震速報に対する的確に身を守る行動（シェイクアウト行動）を確実に実行できるようにしましょう。何を備えても、生きていなければすべてが無駄になることを自覚してください。

2021年3月11日

「3・11祈りの汽笛」実行委員会